

帯広神社で清掃
奉仕と安全祈願

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は11日、帯広神社で清掃奉仕活動をした。平田建設（同・士幌）、松本組（同・函館）などグループ6社から240人が参加。境内をきれいにした後、本殿で1年の無事安全を願った写真。

1995年から続く活



動。ことしで25回目を迎えた。加藤兆基専務は「お世話になっている地域へ

の恩返し。また工事の本
格化を前に多くの社員が
集まるので親睦を深めて
ほしい」と話していた。

参加者は境内と隣接する十勝護国神社に分かれ、参道をほづきで掃き、枯れ枝やどんと焼きの灰などを処分した。終了後に札幌支社からの参加者約100人も合流。本殿前で拝礼し安全祈願をした。

地元の神社をきれいに

宮坂建設工業などグループ各社

【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）をはじめとするグループ各社は11日、帯広神社と十勝護国神社で清掃奉仕活動を実施した。役員240人が参加。日ごろお世話に

なっている地域への恩返しの気持ちを込め、境内や参道に落ちていたごみを隅々まで拾い集めた。

同社は、創始者の遺訓である「世の為人の為につく

る」の精神から、各地で精力的に地域貢献活動を実施している。この清掃奉仕活動は1995年から毎年この時期に行っており、ことしで25回目を迎えた。

この日は、宮坂建設工業、（株）平田建設、（株）松本組などから総勢約240人が参加。各グループに分かれて境内や参道などを清掃したほか、どんと焼きで出た灰も若手職員が中心となって回収した。

清掃終了後は、安全祈願と入魂式を行い、無事故・無災害の祈願と、日々の業務に全力を尽くすことを全員で誓った。



どんと焼きで出た
大量の灰は若手職員が回収した

天候にも恵まれた



◆登寿ホールディングスが神社清掃
11日、帯廣神社と十勝護国神社で行い、宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)などグループ7社から233人が参加した。写真。
1995年から地域貢献の一環で続けている。参加者はどんと焼きの灰を取り除き、手分けして境内を清掃した。
宮坂建設工業の加藤兆基専務は「これから工事が本格化する。日頃の感謝とともに作業の安全を祈願したい」と話していた。帯廣神社で安全祈願も行った。